

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント

収穫

青島温州の収穫は、果実の着色を見て判断していきます。着色が7〜8分以上のものから区分採取をしてください。収穫時は手袋をはめ、軸の二度切りを徹底し、果実にキズを付けないように丁寧な作業を心掛けましょう。収穫がこれからコンテナに果実を移すときも衝撃を与えないように、低い位置で果実を移しましょう。

予措^{よそ}

収穫後の果実に「予措」を行って果皮を乾燥させることで、浮皮の進行や腐敗発生を抑える効果が期待できます。果実重量は、直射日光の当たらない風通しの良い倉庫や貯蔵庫などで、1〜2週間程度をかけて3%程度減少させましょう。

浮皮軽減対策

4〜5分の着色期にクレントを散布します。散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を確認しましょう。

秋肥

・クレント 100倍

秋肥の施用は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」的な働きと、次年度の着果量や発芽量を確保する「元肥」的な働きがあり、重要な管理です。地温が12℃以下になると吸収効率が悪くなるため、適期に適量を施用してください。

・青島温州（11月上旬） 粒状固形248 3袋/10a

病害虫防除

貯蔵病害を予防するために、収穫前に防除を行います。貯蔵病害の発生防止には、防除だけでなく果実の丁寧な取り扱いや予措、貯蔵管理の徹底など多くの管理が重要です。

○ペフラン液剤25 2000倍（収穫前日〜3回）

○ベンレート水和剤 4000倍（収穫前日〜4回）

※降雨・紫外線により、薬剤効果が弱まるため、なるべく収穫直前に散布しましょう。



果樹林産センター 信方浩志郎